

【科目名】園芸療法演習		
【期 別】通年	【区 分】必修	【種 別】演習
【単位・コマ数】2単位・15コマ	【時間数】22.5	
【主任教員】○豊田 正博（10）		○は成績評価者
【分担教員】○金子 みどり（5）		○は成績評価者
【授業のねらい】 園芸療法の実践における課題を見つけ、解決できる能力を養う。		
【担当教員】	【授業予定】	
豊田 正博 寮： 8/1（月）1-5限 11/8（火）1-5限 通2年次： 5/8（日）1-5限 8/27（土）1-5限	1回目（全寮制・通学制）園芸療法実習報告会リハーサル向け準備 ・園芸療法実習Ⅱふりかえり（統合・解釈・焦点化と目標・計画の確認、リスク管理事例検討） ・園芸療法実習Ⅲに向けた準備（補うことの確認、園芸計画、評価方法等の再確認） ≪1-2限≫ ・園芸療法と生活習慣病・認知症・うつ予防 ・エリクソンの発達課題・社会脳と共生（ともいき）の考え方 ≪3-4限≫ ・リスク管理状況確認・症例検討（報告会で発表する症例） ≪5限≫ ・発表用PPT内容確認（全員） 2回目（全寮制） ・実習施設を想定した集団的園芸療法を考える ≪1限≫ ・各施設における利用者のカテゴリー化 ≪2限≫ ・カテゴリー別目標・園芸療法計画検討 ≪3限≫ ・発表 ≪4-5限≫ 2回目（通学制） ・実習Ⅲの目標・計画・評価方法等の途中確認、ヒヤリ・ハットの共有 ・園芸療法実習Ⅲ途中指導 ICF・目標・評価・計画（これまで・これから）・評価方法、今の課題	
金子 みどり 寮・通2年次合同 H29 2/9（木）1-5限	「園芸療法マネジメント（豊田）」の授業後課題を使って ・今後の園芸療法実践計画と課題の発見 ・課題解決方法の検討	
【購入/参考図書】なし		
【予習課題】		
豊田正博	全寮・通学 1回目 【準備物①】報告会で発表予定の症例について、表にICF図（A4版1枚）、裏に統合・解釈・焦点化・目標（長期・短期）・評価方法・園芸療法計画を（A4版1枚）に簡潔にまとめ、両面印刷したものを1部持参。午後に使用するのでそれまでに人数分（学生数+教員分3+保管用1）印刷する。 【準備物②】5限までに、各自発表用PPTを1ページあたり6コマで人数分（学生数+教員3+保管用1）をカラー印刷してください。 全寮 2回目 【準備物】園芸療法実習Ⅱ・ⅢのデータとノートPC持参 通学 2回目 【準備物】実習報告会で発表予定の対象者（1名）について、表にICF図、裏に目標（長期・短期）、評価方法、実施した園芸療法の日付・テーマ、現在の課題を記載してA4版1枚にまとめて1部印刷して持参してください。途中までの評価状況や質問などは別紙印刷可。	
【成績評価の方法】		
豊田 正博：	出席状況、施設における効果的な園芸療法を行うための知識・思考などを授業内の発表等で評価。	
金子みどり：	出席状況、レポート内容	
【受講生への希望】		
金子 みどり：	今まで学んだ園芸療法課程での成果をこの授業でまとめてみましょう。	